

＜ 数学 ＞科 学習シラバス

科目	数学B	学年・類型	2年生 アカデミーコース	単位数	2単位	教科書	高校数学B 新訂版（実教出版）
学習の到達目標		1 数列, ベクトルについて理解し, 基礎的な知識を身に付けている。 2 数列, ベクトルに関する問題を表現・処理する技能を身に付けている。 3 数列, ベクトルに関して事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばし, 活用する態度を育てる。					
評価の観点	A 関心・意欲・態度	B 数学的な見方や考え方	C 数学的な技能	D 知識・理解			
評価の内容	数学的活動を通して, 考え方や体系に関心をもつとともに, 数学的な見方や考え方のよさを認識し, それらを事象の考察に積極的に活用しようとする。	数列, ベクトルにおける数学的な見方や考え方を身に付け, 事象を数学的にとらえ, 論理的に考えるとともに思考の過程を振り返り多面的・発展的に考える。	数列, ベクトルにおいて, 事象を数学的に考察し, 表現し処理する仕方や推論の方法を身に付け, 的確に問題を解決する。	数列, ベクトルにおける基本的な概念, 原理・法則, 用語・記号などを理解し, 基礎的な知識を身に付けている。			
評価の方法	・授業への参加姿勢や態度 ・予習や復習への取組状況	・定期考査	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・課題への取組			
学期	月	単元名・小単元名	学習の指導内容	評価の観点			
				A	B	C	D
1 学 期	4	1章 数列 1節 数列とその和 ①数列と一般項	・数列の意味とその一般項について理解できるようにする。	○	○		○
	5	②等差数列	・等差数列の意味を理解し, 一般項や和を求めることができるようにする。		○	○	○
		③等比数列	・等比数列の意味を理解し, 一般項や和を求めることができるようにする。		○	○	○
	6	問題1-1	・1節の学習内容を確認し, 定着を図る。		○	○	
2節 いろいろな数列 ①和を表す記号		・和を表す記号 $\Sigma$ の意味を理解し, $\Sigma$ を使って和を表すことができるようにする。 ・自然数の和, 自然数の平方の和を求めることができるようにする。			○	○	
		②階差数列	・数列の階差数列を用いて, 一般項を求めることができるようにする。		○	○	
7	問題1-2	・2節の学習内容を確認し, 定着を図る。	○		○	○	
2 学 期	8・9	3節 漸化式と数学的帰納法 ①漸化式	・漸化式の意味を理解し, 数列を漸化式を用いて表すことができるようにする。		○		○
		②数学的帰納法	・数学的帰納法の意味を理解し, 数学的帰納法を用いて証明ができるようにする。 ・3節の学習内容を確認し, 定着を図る。	○	○		
	10	2章 ベクトル 1節 平面上のベクトル ①ベクトル	・ベクトルの意味や, その相等などについて理解できるようにする。	○			○
		②ベクトルの計算	・ベクトルの和, 差及び実数倍を図示できるようにする。 ・零ベクトルの意味を理解できるようにする。		○	○	
11	問題2-1	・1節の学習内容を確認し, 定着を図る。	○		○		
	2節 ベクトルの成分と内積 ①ベクトルの成分	・基本ベクトルの意味を理解し, ベクトルを成分で表したり, ベクトルの大きさを求めることができるようにする。	○			○	
12	②ベクトルの内積	・ベクトルの内積の意味や性質を理解し, 2つのベクトルの内積を求めることができるようにする。	○		○		
3 学 期	1	3節 位置ベクトルと図形 ①位置ベクトルと図形	・位置ベクトルの意味を理解し, 位置ベクトルを用いて, 線分を分ける点や重心を表すことができるようにする。	○	○		
		問題2-3	・3節の学習内容を確認し, 定着を図る。		○	○	○
	2	4節 空間におけるベクトル ①空間ベクトル	・空間でも, 平面上と同様にしてベクトルを考えられることを理解できるようにする。		○		○
		②空間ベクトルと成分	・空間の点の座標とベクトルの関係を理解できるようにする。			○	○
3	③空間ベクトルの内積	・空間でのベクトルの内積やベクトルの垂直などについて理解できるようにする。	○		○		
	3	問題2-4	・4節の学習内容を確認し, 定着を図る。		○	○	○
学習のポイント		予習, 復習など家庭学習を充実させると, 学習の効果は一層向上する。					